

ICOM国際委員会への加盟館園職員の派遣事業（全科協 50 周年事業） 実施要項

1. 趣旨

国際的な研究成果発表における加盟館園職員の積極性に対して、重点的な支援をおこなうことで、今後の本協議会の国際的な視野拡大を図るもの。特に平成 31 (2019) 年に初めて国内で開催される ICOM 大会を、その良き機会と捉えて、それに向けた段階的な機会提供を行う。

2. 事業の概要

- ・ ICOM 国際委員会での参加及び発表に係る経費について助成を行う
- ・ 平成 29 年、30 年については ICOM 国際委員会への参加発表に係る経費（1 名につき上限 20 万円程度）、平成 31 年 ICOM 京都大会ではその参加に係る経費（上限 5 万円）の助成をおこなう。

3. 発表内容

参加を希望する ICOM 国際委員会に相応しいテーマ（運営、施設管理、展示、教育普及活動に関することなど）を各自で設定する。

4. 応募条件

正会員である加盟館園の職員

5. 募集人員

平成 29・30 年度：2～3 名程度、平成 31 年度：30 名程度

6. 派遣者

派遣者は加盟館園における有識者の意見聴取及び臨時理事会での承認を経て内定、当年度第 1 回理事会・総会をもって決定する。また応募者は各国際委員会の募集する発表者の募集へ別途応募することとし、原則として、採択された者について派遣者とし、依頼することとする。

7. 調査研究実施費用等

助成金額は上記 2. 事業の概要のとおり。また原則として、助成額を超える部分は所属館または本人の負担とする。

8. 調査研究の報告

帰国後 2 か月以内に、発表に用いた資料とともに、報告書を提出させる。報告書は、加盟館園職員の参考となる情報を含めたものとし、適宜総会等での情報共有に努める。

9. その他

その他応募に関する詳細は、別紙、参加者募集要項による。